

教育長の視点

～その先にあるもの～

ダイジェスト

全国の教育長に教育施策の立案の視点について尋ねるコーナー「教育長の視点～その先にあるもの～」を、教育情報総合サイトVIEWnext ONLINEで連載しているが、ここでは、栃木県宇都宮市、京都府京丹後市、沖縄県那覇市の教育長へのインタビューのダイジェストを紹介する。

Web VIEWnext ONLINE

各教育長の記事の全編は、ウェブサイトでご覧いただけます。それぞれの2次元コードからアクセスしてください。

栃木県
宇都宮市
教育委員会

「教育で選ばれるまち」への挑戦

～独自の教育施策をシティプロモーションにつなげる～



こぼりしげお
小堀茂雄 教育長

文部科学省「全国学力・学習状況調査」の正答率が10年以上、全国平均を上回っている宇都宮市。その背景には、独自の小中一貫教育「4・3・2制」による発達段階に応じた学習指導に加え、毎年、小学6年生と中学3年生に実施する独自の学力調査の結果を分析して授業改善に生かしてきたという歩みがある。「本市への移住・定住を促進するため、教育力の高さを積極的に発信しているが、それは教員の誇りと自信にもつながっている」と、小堀教育長は語る。

教育長の記事の全編は、右の2次元コードからアクセスしてください



聞き手



小中学校事業本部
義務教育支援1課
(東日本) 課長
たなか 悠
田中 雄

京都府
京丹後市
教育委員会

教育DXで地域差を埋め、世界へとつなぐ

～「まずはやってみる」姿勢で学校現場の挑戦を後押し～



まつもとあきひろ
松本明彦 教育長

「グローバル人材の育成」を掲げ、デジタルと探究学習を掛け合わせた教育を推進する京丹後市。パイロット校の実践をチャットなどで市内全校に共有。教員の新しい挑戦を後押ししたところ、AIドリルの活用率は全国平均を大きく上回り、生成AIを高校入試の模擬面接に活用する学校も現れた。国内外の研究機関と協働で中高生対象のオンラインセミナーも実施。松本教育長は、「デジタルを活用して様々な差を埋め、子どもの成長を支えたい」と意気込む。

教育長の記事の全編は、右の2次元コードからアクセスしてください



聞き手



小中学校事業本部
義務教育支援2課
(西日本) 課長
えだこうじ
江田幸司

沖縄県
那覇市
教育委員会

働き方改革×メンタルヘルス

～対話を大切にしながら、タスクフォースで進める～



みやさとひさこ
宮里寿子 教育長

メンタルヘルスの不調による教員の休職率が高かった那覇市は、市長部局と教委が一体となったタスクフォースを設置し、教員の負担軽減に乗り出した。宮里教育長は自身の課題意識から、各校の保護者対応を支援する「学校問題解決支援員」や、教育委員会直轄の保健師が各校を巡回するという、教員が相談しやすい環境を整えた。さらに、対話を通じて同僚性を高めていく職場づくりを各校長に依頼。「公助と同時に、自助や共助も必要」と、宮里教育長は指摘する。

教育長の記事の全編は、右の2次元コードからアクセスしてください



VIEWnext ONLINE で記事の全編をぜひご覧ください